

梅雨に入り不安定な天候が続いておりますが、会員のみなさんやお子さんはお元気で過ごしてでしょうか。全国の「守る会」では岩手県において去る6月14~15日にかけて第34回の大会が開催されました。今回は残念ながら石川からは参加することができませんでしたが大会のテーマを「障害者の人権・QOLの向上」において基調提案や分科会が設定されていたようでした。「両親の集い」5月号には詳細な資料が載っていますのでご一読いただくと厚生省の障害者プランの方向や内容がつかめると思います。



障害児(者)の自立をめざして

—— 安心して預けられる短期入所の場づくり ——

越坂由紀子

在宅の重度障害児(者)のために、とりわけ障害が重度であればある程、体験短期入所の場づくりと緊急時の対応が必要だと思います。

家族の病気、冠婚葬祭、仕事、兄弟の学校行事などの家族の用事や親の介護疲れを癒すためのリフレッシュ旅行などのために、また、生活リズムの乱れを解決するためにも家族以外の人たちと食事や排泄や意志の疎通ができるような場が求められています。そのような体験を通して自立をめざしていくことが大切だと思われ

ます。親の高齢化が進んでいる現在、この自立が一日も早く実現できるための条件整備が緊急に必要なようになってきています。よりよい短期入所制度を確立するためには日頃から親子で体験入所を何回も繰り返して少しでも不安感を解消して、緊急時に備えることも必要ではないでしょうか。

石川県には短期入所できる施設や病院がいくつもあります。子どもさんの実態にあったところを選んで体験入所を試みられてはいかがでしょうか。

愛育学園・希望ヶ丘・仏子園・錦城学園	精神薄弱児施設
石川整肢学園	肢体不自由児施設
石川療育センター	重症心身障害児施設
医王病院・七尾病院・石川病院	指定国立療養所

申し込みは其々の施設や児童相談所または市町村の福祉課にお尋ねください。

みんなで知恵を出しあい、魅力ある会にしましょう 00

在宅の子どもたちのために

- ・外出の機会の少ない子ども達のためにデイケアを会として実施したらどうか。養護学校や長町研修館（金沢）などを借りて楽しい一時を過ごせないか
 - ・ショートステイがもっと利用しやすくないか。
- 指定病院・施設の拡大、体験入所の受け入れ……………等

入所の子どもたちのために

- ・親の高齢化にともない冬期間など面会にきて帰るのが困難な時に施設内に宿泊する場所が確保できないか。

今のところ上のような要望が寄せられています。行政に働きかけたり、会として企画したりして少しずつでも具体化していきたいと考えています。

アンケート集約にご協力ください

石川の守る会として在宅用と入所用のアンケートに取り組んでいます。みなさんの意見や要望をお書きになって提出くださるようお願いいたします。

今後の予定

- ・東海北陸ブロック国療親の会会長会議

7月26日（土）～27日（日）

NTT会館ラポート兼六 金沢市兼六町2-5（兼六園入口）

- ・石川守る会総会

9月6日（土）2時～4時

長町研修館（予定）

内容 活動報告 会計報告 役員改正 意見交換

- ・親子のつどい

7月31日（木）10時～12時

長町研修館 和室 Ⅷ 220-2202

夏休みの一日を親子で楽しく過ごしませんか。どなたでも自由に参加下さい。子ども達の活動には養護学校の教師などがボランティアとしてつきます。



訃 報

石川守る会の副会長で事務局の仕事を一手に引き受けてくださっている越坂さんのお子さんの越坂記代子さんが去る6月9日、21才の生涯を閉じられました。

重い障害を持ちながらも訪問教育を12年間受けられ、これからも楽しいことをたくさん経験したいと思っていたのに残念です。ご冥福をお祈りします。

記代子に愛の世界、命の尊さを教えられて

石川守る会 越坂 由紀子

主人の転勤で横浜市へ引越した昭和51年、暮もおしつまった12月28日、3、40gの丸々と太った女の子を出産した私は、一男一女に恵まれ幸せなお正月を迎えましたが、異常に気づいたのは退院して間もなくです。お乳をあまり飲まないのです。思いついて難病の治療に定評のある県立子ども医療センターを受診、そこで先天性筋ジストロフィー症と診断されました。背筋に戦慄が走り、何をどう考えたらよいのかわかりませんでした。

そんな私を心配した保健婦さんが、親の会（妻の会）や「横浜市身障者福祉センター」を紹介して下さい、そこで同じ立場のお母さん達や指導員の幸福先生と出会い、勉強会を重ねるうちに少しずつ笑顔を取り戻すことができました。どんなに嘆きもだえても我が子の病気は治せない現実を受け入れ、この子の限られた生命を共に生き抜こう、そう思うと、何か生きる勇気がわいてくるようでした。

長男が小学校一年生の夏休み、思いきって故郷（石川県）へ帰りました。北陸の冬の厳しさは格別です。その北陸の地で障害の児を抱えていく生活は想像以上でした。横浜で担当医から「記代子ちゃんがこの世に生まれてきて本当によかったと思えるように、ご家族の中で育てて下さい」と言われていたその言葉を根底から覆すように、どこへ相談しても「石川県ではこんな子は入所するしかありません」と冷たい返事で、在宅で看ることの愚かさを説得されました。

翌年4月、娘は県立明和養護学校へ入学しました。先生が週に2回みえ、遊びの中に訓練も組みこまれ、子どもの笑顔や可能性を引き出すために最大限努力する訪問教育のあり方に私は満足していました。チョココンとお座りをして楽しそうに身体を揺らし、笑い声をあげる娘は本当に愛らしく、成長が楽しみでした。

ところが娘が11歳の時、知人の車に乗っていた私と娘は交通事故に会い、娘をとっさに守ろうとした私は右肩骨折で4か月余入院、その間に娘の拘縮は進んでしまいました。その2年後、今度は娘が病院で訓練中に左上腕骨折、肺炎を併発し生命の危機にさらされましたが、学校の先生やお友達のお見舞に生命の灯をかきたてる娘を見て、学校こそ延命の原点

であると確信するようになりました。しかし訪問教育は義務教育で終了なので、あれ程学校生活で生き生きしていた子ども達が卒業後、社会と遮断されたなかで尊い生命を終えていく悲しい場面に幾度も立ち会いました。そんな子ども達にせめて3年間の学校生活の持続をと親達が集まり、平成2年「石川県重症心身障害児の高等部をつくる親の会」が結成されました。慣れない署名活動、陳情等を重ねた結果、翌年石川県で中学卒業後の教育3年延長が保障され、その後高等部として学籍付与が認められました。

おかげで娘も進学しましたが、制度化されていない中での実施には種々問題があり、娘は高等部3年の春、そうした問題もからんでの事故に巻き込まれ、左肩骨折で3か月入院し、最後の学校生活だっただけに、怒りで身体が震えました。これが引き金になり平成7年、第8回全国訪問教育研究会埼玉大会で「全国訪



両親の集い
3月号の記事です

問教育親の会」が結成されました。待ち

てしまいました。けれども私は病室の傍

かねたように全国から親達の呻きとも悲

らで11月16日、17日金沢で開催される全

問教育親の会」が結成されました。待ちかねたように全国から親達の呻きとも悲鳴ともとれる手紙が寄せられ、署名(24万余名)やカンパが託され、代表者の手で文部省へ届けられました。全国的にテレビ、新聞等に取り上げられ平成8年8月「訪問教育を養護学校の高等部にも広げることを文部省が決定、近く条件整備に向けた検討に入る」旨発表されました。子らの声なき声を伝えたいと立ち上がった親達に教師はじめ全国の多くの方々の暖かいご支援は本当に嬉しく、胸がいっぱいになりました。機が熟する時は重なるものです。同年7月27日、長年の親達の念願だった「石川守る会」を結成することもでき、二重の喜びでした。

9月に入り守る会の支部化へ向けて取り組もうという矢先、娘が肺炎で入院しました。心臓がひどく弱っている上にM RSAに感染し、秋祭りの朝呼吸困難に陥り、漸く一命をとりとめたものの気管切開をし人工呼吸器をつけた生活になつてしまいました。けれども私は病室の傍らで11月16日〜17日金沢で開催される全国守る会第4回運動推進部役員会の準備をさせて頂きながら、やるべきことはやったという気持ちで不思議と穏やかな心でいられました。

北風の吹き荒れる寒い日、娘の入院する医大病院に北浦会長はじめ役員の皆様をお迎えしたその会議は、私達への励ましになりました。心から感謝申し上げます。守る会の「最も弱いものを一人ももれなく守る」の基本方針にそった新たな運動、それが娘が示す光への道と信じて、今私達は歩きはじめました。全国の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致します。

…私に本当の愛の世界、生命の尊さを教えてくれた記代子。今日もその記代子の深く澄みきったつぶらな目はどこか遠くの世界を見ているようだ。記代ちゃん母さんの生き方を見守っていてね、記代ちゃんに、生まれてきて本当によかった、と思われようなお母さんになるわ。

- 新入会者の紹介
- 石川守る会 正会員
 - 菊地さん 萩原さん
 - 源さん
 - 賛助会員
 - 中田さん 影山さん
 - 寺島さん 北原さん
 - 山本さん 玉鉾さん
 - 新保さん
 - 全国守る会 正会員
 - 賛助会員 萩原さん
 - 北原さん

7月上旬
開始

車いすで外出しやすく

金沢“メルシー”キャブサービス

7月上旬から、車いすを使用している方々を、車いすのまま乗車できる専用自動車でご希望の場所へ送迎するサービスを開始します。

利用できる人は...

市内に住んでいる方で、日常的に車いすを使用している方

利用するには...

- ・会員登録が必要です。(200人先着順)
- ・年会費1,500円 6月2日から登録受付
- ・予約制 利用希望日の2ヶ月前〜3日前に申込み
- ・予約時間 午前9時〜午後5時(土日祝日、12/29〜1/3を除く)
- ・利用料金 30分につき300円
- ・その他(燃料費、有料道路、駐車場等)実費
- ※介護者の同乗も可能です。

利用の範囲は...

- ・利用時間 午前9時〜午後7時(12/29〜1/3を除く)
- ・運行範囲 市内および隣接の市町村
- ・専用車両 3台(1台は小型)

お問い合わせ
市社会福祉協議会
(高岡町7-25) ☎31-3571



募集

運転ボランティア

- ・普通免許取得後3年以上経過した方
- ・障害者や高齢者の福祉に理解をお持ちの方
- ※運転前に講習会を受講していただきます。